

第2127号

2025年1月19日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

市長に予算要望書を提出



日本共産党根室市委員会（橋本竜一委員長）と同党根室市議会議員団（鈴木一彦団長）は1月15日、石垣雅敏根室市長に対し、2025年度の根室市予算編成等に関する要望書（要望書）を提出しました。（写真左から橋本議員、鈴木議員、石垣市長、竹本勝哉副市長）

要望書は、1. 領土問題について 2. 産業問題について 3. 中小企業支援、生活関連公共事業、地域の雇用問題等について 4. 行財政運営について 5. 医療・介護・福祉・子育て支援等について 6. 教育について 7. 防災・減災対策について 8. 平和、ジェンダー平等、自然保護、エネルギー問題等について 以上、8つの大項目からなります。

要望書を手渡した後、橋本議員と鈴木議員は、若年者の雇用の課題、地域交通、男性職員の育児休暇取得、水道事業、市立根室病院の一部病棟閉鎖問題、ワクチン接種補助、不登校児童生徒に係る課題、文化会館の使用料、（仮称）総合体育会館建設の財源等々について、市長、副市長と活発な意見交換を行いました。

根室市20歳のつどい開かれる

1月12日（日）午後1時30分より、根室市総合文化会館大ホールにおいて、「根室市20歳のつどい」が開催されました。式典の副題は「感恩報謝」です。今年の対象者は256名（内、外国籍の方は65名）で、会場には振り袖や羽織袴、スーツで着飾った、162名（内外国籍10名）の方々が参加しました。

波岸克泰教育長がお祝いの言葉を述べました。

教育長は、孔子の論語から学而を引用し、学びと友情の大切さについて話しました。また、育ててくれた人への感謝の気持ちを忘れず、これからは自分の言動に責任をもってほしいと呼びかけました。

石垣雅敏根室市長が贈る言葉を述べました。

市長は、どんな時も誠実で思いやりをもつこと、挑戦し続けること、「失敗しても取り戻せる。貴重な20代を大切にしてほしい」とエールを送りました。また、技能実習生のみなさんには、日本との懸け橋として活躍されることを期待しました。

20歳代表の2人が市長に対し『20歳の誓い』を述べました。

2人は、はじめに家族、先生、地域のみなさんに感謝とお礼を述べました。次に、学校で青春をともにした仲間へ、ばらばらになっても、これからもかけがえのない存在であると、友情について触れました。そして、これからカベにぶつかることもあると思うが、根室で育ったことを誇りに思い、大人として成長していくとともに、根室の魅力を発信して、まちづくりに貢献したいと、力強く宣誓しました。

（左写真は、20歳代表の2人が市長に『20歳の誓い』を手渡す様子）

